

設立から現在まで

1997. 10. 7 「協力し連携することによって広島の高高等教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成を呼びかける。
10. 31 協議会設置準備会を開催。
12. 15 広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる
1998. 4. 1 広島県高等教育機関等連絡協議会発足
広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30の大学・短期大学が参加
1999. 4. 1 単位互換及び生涯学習事業を始める
2002. 4. 1 広島県高等教育機関協議会と改称。高大連携事業を始める
2003. 4. 1 大学院単位互換事業を始める。海上保安大学校加盟
2004. 4. 1 呉工業高等専門学校、ノートルダム清心女子大学加盟
10. 1 島根県立大学加盟
11. 27 全国大学コンソーシアム協議会設立、呼びかけ団体となる
2005. 4. 1 教育ネットワーク中国と改称
広島県私立中学・高等学校協会加盟
2006. 4. 1 広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟
2007. 4. 1 高大連携科目等履修生制度の開始
6. 21 紀伊國屋書店、中国新聞社、広島銀行、広島信用金庫が賛助会員として加盟
教育ネットワーク中国設立10周年
9. 15 全国大学コンソーシアム協議会研究交流フォーラム開催
2008. 2. 28 大学生協中国・四国事業連合、モルテン、広島電鉄が賛助会員として加盟
3. 21 中国新聞社との包括的連携協力協定を締結
6. 26 凸版印刷（中四国事業部）が賛助会員として加盟
8. 20 文部科学省「戦略的大学連携支援事業」採択（～2010年度）。
9. 22 進研アド、広島商工会議所が賛助会員に加盟
12. 25 事務局を広島県自治会館内に移転
2009. 4. 1 日本赤十字広島看護大学加盟
南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定を締結
5. 1 「広島県大学コンソーシアム支援事業」補助金受託
2010. 4. 1 広島都市学園大学加盟
2011. 4. 1 一般社団法人教育ネットワーク中国と改称
広島県留學生活躍支援センター開設
2011. 4. 1 広島県留學生活躍支援センターをひろしま国際センターへ移管
2012. 4. 10 事務局を広島修道大学インターナショナルハウスに移転

加盟会員数

正会員 26校（18大学 1大学校 1高専 6短期大学） 3団体 計 29
加盟校 26校 大学生 約 54,500人
加盟教育団体 3団体 高校生 約 32,000人
賛助会員 26社 1団体



一般社団法人 教育ネットワーク中国

2012

〒730-0803
広島市中区広瀬北町9-3
広島修道大学インターナショナルハウス内
TEL 082-533-7590
FAX 082-533-7591
E-mail office@enica.jp
URL http://www.enica.jp/

正会員

エリザベト音楽大学
海上保安大学校
近畿大学工学部
呉工業高等専門学校
県立広島大学
山陽女子短期大学
島根県立大学
鈴峯女子短期大学
日本赤十字広島看護大学
比治山大学
比治山大学短期大学部
広島経済大学
広島工業大学
広島国際学院大学
広島国際学院大学自動車短期大学部

広島国際大学
広島修道大学
広島女学院大学
広島市立大学
広島大学
広島都市学園大学
広島文化学園大学
広島文化学園短期大学
広島文教女子大学
安田女子大学
安田女子短期大学
広島市教育委員会
呉市教育委員会
広島県私立中学・高等学校協会

賛助会員

紀伊國屋書店（中四国営業部）/ 中国新聞社/広島銀行/広島信用金庫/大学生協（中国・四国事業連合）/ 広島電鉄 / モルテン / 凸版印刷（中四国事業部）/ 進研アド（西日本本部中・四国支社）/ 広島商工会議所/フタバ図書/中電工（広島統括支社）/リクルート（中国支社）/もみじ銀行/五洋建設（中国支店）/清水建設/熊平製作所/ 合同総研/日本通運（広島旅行支店）/広島リバーサイドホテル/丸善（広島支店）/ヤマハミュージック中四国/広島市信用組合/日建設計（中国支所）/DNP西日本/西日本電信電話（広島支店）/フジタ（広島支店）/

理事・監事

代表理事	市川太一（広島修道大学学長）
理事	赤岡 功（県立広島大学学長）
	秋山寛利（広島国際大学学長）
	浅田尚紀（広島市立大学学長）
	浅原利正（広島大学学長）
	角重 始（広島文教女子大学学長）
	川野祐二（エリザベト音楽大学学長）
	瀬山敏雄（安田女子大学・安田女子短期大学学長）
	高橋 超（比治山大学・比治山大学短期大学部学長）
	田原俊典（広島県私立中学・高等学校長協会会長）
	鶴 衛（広島工業大学学長）
	前川功一（広島経済大学学長）
	正岡稔民（鈴峯女子短期大学理事長）
監 事	長尾ひろみ（広島女学院大学学長）
	古澤敏昭（広島都市学園大学学長）

（50音順）

I 大学との連携

自大学に開講されていない科目や学びたい他大学教員の科目を受講することを目的にしている。

単位互換協定を締結した大学の学生は、所属大学の許可を得て出願し、他の大学において取得した単位は学生の所属する大学の単位として認定される。

4月上旬、所属大学の指定する期間に所属大学の窓口で出願し、選考結果は所属大学を通じて出願者に通知される。

単位互換科目一覧やシラバスはホームページで見ることができる。
大学院についても学部とほぼ同様の手続きで実施している。

学部の単位互換

(1) 経緯

1998年11月27日、単位互換包括協定を結び、10大学9短期大学が参加して、1999年4月から学部単位互換を始める。

2000年度～「ボランティア活動」(マツダ財団寄付講座)

2005年度～教職課程科目の提供を始める。

2008年度～「現代マスコミの動きを知ろう」(中国新聞社寄付講座)

2010年度～後期提供科目の追加募集を始める。

(2) 特色ある科目

* 広島に関する科目

近畿大学工学部「東広島学」 県立広島大学「地域の理解」

広島経済大学「広島を学ぶ」「広島地域ものづくり事情」「中・四国地域経済・金融事情」 広島修道大学「中国地方の自然環境」

広島市立大学「ひろしま論」「平和と人権A」

* 遠隔授業科目 広島女学院大学「ウェブデザインⅡ<HTML入門>」

* 教職課程科目 エリザベト音楽大学「教育原理」

* 広域型単位互換科目

南大阪地域大学コンソーシアム/羽衣国際大学「キャリアと社会」

(3) 履修者数

	1999年度		2011年度
①延べ履修者数	213	→	180人
②実質履修者数	164	→	111人

(4) 提供科目数

提供科目	1999年度		2011年度
	86	→	236

大学院の単位互換

(1) 経緯

2002年11月21日、大学院単位互換制度意見交換会を開き、単位互換の実施方法について協議する。

2003年4月1日から大学院単位互換事業を9大学14研究科30専攻が参加して開始する。提供科目数は140科目。

2006年度4月1日から大学院生が学部の提供科目を履修できることとする。2011年度提供科目数は98科目。10大学提供。

(2) 履修者数

2003年度 4人 2011年度 0人

(3) 参加研究科専攻

エリザベト音楽大学大学院(音楽研究科全専攻共通)

近畿大学大学院(システム工学研究科システム工学)

県立広島大学大学院(総合学術研究科人間文化学・経営情報学・生命システム科学・保健福祉学)

比治山大学大学院(現代文化研究科現代文化)

広島工業大学大学院(工学系機械システム工学、建設工学、情報システム科学、環境学)

広島国際学院大学大学院(工学研究科電気電子・物質)

広島修道大学大学院(商学研究科商学・経営学、経済科学研究科現代経済システム・経済情報、人文科学研究科心理学・社会学・教育学・英文学、法学研究科法律学・国際政治学)

広島女学院大学大学院(言語文化研究科日本語文化・英米言語文化、人間生活学研究科生活文化学・生活科学)

広島市立大学大学院(国際学研究科国際学)

広島文化学園大学大学院(社会情報研究科社会情報)

島根県立大学(北東アジア開発研究科北東アジア地域開発政策)

II 高校との連携

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的としている。

提供科目は公開授業(大学の正規の科目)と公開講座(高校生のための科目)から構成されている。

3月中旬に教育委員会や私学団体を通じて出願受付を行うが、2月中旬からホームページでも科目名や講義の内容を公開し、4月中旬に履修許可の通知をしている。

(1) 経緯

2002年3月に広島県下152高校が参加して高大連携協定を締結。

2002年4月から広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。

2003年度から広島大学付属高校が参加して153校となる。

2005年度から岩国地区の高校が参加して157校となる。二次募集の開始。高大連携委員会の設置、高大連携研究交流会の開催、三原尾道地区で高大連携公開講座を開講。

2006年7月三次地区で中高大連携公開講座を開講。

2007年度から12大学・短大で高校生の科目等履修制度の開始。

2007年7月～備北地区3高校で中高大連携公開講座を開講。

2009年7月～備北地区4高校で中高大連携公開講座を開講。

(2) 主な公開授業科目

エリザベト音楽大学「世界音楽文化Ⅱ」 近畿大学工学部「生物化学基礎実験」 県立広島大学「バイオフードシステム論」 広島経済大学「宗教と現代」 広島国際大学「人間と科学・技術Ⅱ」 広島修道大学「法律基礎A」 広島大学「海と大地の恵みのサイエンス」 安田女子大学「現代のビジネスA」

(3) 主な公開講座科目・受講者数

海上保安大学校「海のサイエンスー海の上や海の中はどうなっているの?」13人

近畿大学工学部「社会における情報システムの役割」2人

県立広島大学「人間文化学への招待-国際文化学科で何を学ぶか-」60人

山陽女子短期大学「医療における医学技術(臨床検査)」5人

鈴峯女子短期大学「おいしいケーキ類を作ろう」62人

比治山大学「高校生のための教職入門講座」14人

比治山大学短期大学部「美術実技講座A デッサン・イラスト」26人

広島経済大学「心みつめる～高校生のための坐禅講座～」38人

広島工業大学「これからの新しい機械技術」21人

広島国際学院大学「ゲームシステム概論」25人

広島修道大学「もっと知りたい世界と日本の政治」33人

広島女学院大学「ロンドンへ行こう!」9人

広島大学「いろいろな目で宇宙を観る」53人

広島文化学園大学「目指せ! スポーツインストラクター」22人

広島文化学園短期大学「ファッションデザイン実力養成講座」15人

安田女子大学「高校生のための心理学セミナー」45人

安田女子短期大学「高校生のための音楽講座」47人

広島都市学園大学「基礎看護技術学-フィジカルアセスメント-」14人

(4) 公開授業と公開講座

■参加大学数と参加高校数

	参加大学	参加高校	受講者数
2002年度	18大学	44校	310人
2003年度	22大学	40校	363人
2004年度	20大学	47校	471人
2005年度	24大学	63校	922人
2006年度	24大学	77校 (内中学校11校)	1740人 (内中学生99人)
2007年度	24大学	75校 (内中学校8校)	2802人 (内中学生50人)
2008年度	22大学	73校 (内中学校8校)	2915人 (内中学生29人)
2009年度	22大学	61校 (内中学校4校)	3143人 (内中学生20人)
2010年度	21大学	70校 (内中学校4校)	2855人 (内中学校5人)
2011年度	22大学	63校 (内中学校1校)	2764人 (内中学校13人)

■受講科目と受講者数 ()内は受講生徒数

	公開授業科目数	公開講座科目数	総計
2002年度	92(157人)	24(153人)	116科目(310人)
2003年度	121(173人)	24(190人)	145科目(363人)
2004年度	105(173人)	29(298人)	134科目(471人)
2005年度	122(220人)	38(566人)	160科目(786人)
	高大連携公開講座(三原尾道地区)		9科目(136人)
2006年度	105(211人)	53(1248人)	158科目(1459人)
	中高大連携公開講座(三次地区)		15科目(281人)
2007年度	120(201人)	78(1299人)	198科目(1500人)
	中高大連携公開講座(備北地区)		56科目(1302人)
2008年度	79(221人)	85(1172人)	164科目(1393人)
	中高大連携公開講座(備北地区)		58科目(1522人)
2009年度	71(85人)	80(1070人)	151科目(1155人)
	中高大連携公開講座(備北地区)		63科目(1564人)
	公開講座A(備北地区)		24科目(424人)
2010年度	71(69人)	87(1168人)	158科目(1237人)
	中高大連携公開講座(備北地区)		59科目(1390人)
	公開講座A(備北地区)		15科目(243人)
2011年度	66(73人)	89(1480人)	155科目(1553人)
	中高大連携公開講座(備北地区)		56科目(1214人)

(5) 受講した生徒の高校 (中高大連携公開講座を除く)

■10人以上の受講生を送った高校・30校 (単位:人)

安西 247 西条農業 220 安芸 114 呉宮原 81 広島観音 65 広島女学院 61 高陽東 53 安田女子 49 熊野 45 山陽女子学園 43 庄原実業 41 祇園北 40 武田 35 呉 34 海田 33 高陽 25 広島県瀬戸内 24 ノートルダム清心女子 24 桜が丘 24 広島なぎさ 23 三次 22 広島文教女子大学附属 20 国際学院 20 比治山女子 19 広陵 19 広島皆実 17 広 14 総合技術 13 黒瀬 12 因島 10

■1人から9人までの受講生を送った高校・29校

沼田 広島国泰寺 庄原格致 佐伯 安佐北 豊田 崇徳 修道 銀河学院 忠海 広島大学附属 舟入 進徳 如水館 近畿大学附属東広島 大崎海星 鈴峯女子 呉商業 広島県立工業 基町 千代田 竹原 翔洋 世羅 吉田 広島市立商業 東城 呉港 大竹

(6) 高校生の科目等履修制度

■科目提供の大学 (6大学)

エリザベト音楽大学 近畿大学工学部 山陽女子短期大学 広島国際学院大学 広島女学院大学 安田女子大学 (19科目)

■参加高校 (5高校)

佐伯 西条農業 庄原実業 鈴峯女子 広陵 (11人)

(7) 遠隔授業

■参加大学 (4大学)

比治山大学 広島経済大学 広島修道大学 広島女学院大学

■参加高校 (2高校) 三次 庄原格致

■受講登録者数

比治山大学「はじめの一步～保育の心理学」7月2回 (14人)

広島経済大学「経済を見る目を磨く」7月2回 (8人)

広島修道大学「心の理解とその発達」6月2回 (16人)

広島女学院大学「江戸時代の絵がおもしろい!」6月1回 (9人)

広島女学院大学「日本語と英語を比べてみよう」(6月1回8人)

広島修道大学「実験経済学 ～簡単なゲームを通じて経済学を学ぶ～」(7人)

広島女学院大学「土地、どうやって使って?」10月2回 (6人)

広島女学院大学「健康管理ってなんだろう?」10月1回 (8人)

比治山大学「ことばの不思議を探る～日本語学入門」10月2回 (11人)

広島経済大学「経済を見る目を磨く」10～11月2回 (14人)

(10) 高大連携研究交流会の開催

2004年度までは高校と大学の連携を促進するために、加盟校、各教育委員会、各高等学校の担当者による「高大連携連絡会」、2005年度以降は高大連携研究交流会を毎年開催している。

■2011年度高大連携研究交流会

「中高大連携公開講座(備北地区)の状況報告」

山本 哲也(庄原格致高等学校)

「高大連携公開授業・公開講座への参加の取り組みと今後の課題」

岡野 克巳(西条農業高等学校)

「高大連携公開授業科目等履修生制度の現状と課題」

穂垣 由恵(エリザベト音楽大学)

(11) 高大連携アンケートの実施

2002年以降、高大連携事業に参加した高校生、高校の担当教員および大学教員を対象にしてアンケート調査を実施し、改善の参考にしている。

Ⅲ 生涯学習

(1) 経緯

1999年度から共同開催講座と連携公開講座を広島県立生涯学習センターにおいて開催している。

2001年度から広島県教育委員会と「ばれっとカレッジ」を広島県立生涯学習センターにおいて開催。

2002年度から広島市教育委員会と「シティカレッジ」を広島市まちづくり市民交流プラザで開催。

2003年度から講座情報をホームページで公開している。

2005年度から公開講座「これからの教師像」を開講。

2009年度から「ばれっとカレッジ」会場を広島県立図書館会議室に変更。

2009年度より「ばれっとカレッジ」「シティカレッジ」あらたに「enicaカレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、ICカード受講証を発行。ひろしまカレッジ交流会の開催。

2010年度よりひろしまカレッジとして「大学で開講する公開講座」開催。

(2) 生涯学習事業

■共同開催講座 (広島県教育委員会と共催) 1999～2006

■2011年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像	研修会		
登録者数	59	744	84	217	958	2062
延べ受講者数	288	2756	288	281	1978	5583

①ばれっとカレッジ3 (15)

②シティカレッジ16 (78)

③enicaカレッジ (これからの教師像1 (4) 研修会6 (9))

④大学で開講する公開講座11 (39)

計37 (145) ※講座名の後の数字は講座数、()内はコマ数を表す。

■2011年度の講座

<ばれっとカレッジ (広島県教育委員会と連携)>

会場: 広島YMCAホール他

①新しい中国書道史の話 (安田女子大学) 5/14～6/11 4回

②パイプオルガンでバッハのピアノ曲を弾いてみよう! (エリザベト音楽大学) 5/28～8/20 5回

③博物館 おススメ! 広大ワクワク講義学問の怪人 (広島大学) 6/11～6/25 6回

<シティカレッジ (広島市、(財)広島市未来都市創造財団と連携)>

会場: 広島市まちづくり市民交流プラザ

①生活習慣と病気 (広島文化学園大学) 5/7～6/11 5回

②人材育成と新たな情報メディア (広島国際学院大学) 5/28～7/2 6回

③日本古典文学に見る愛の形 (広島女学院大学) 6/2～6/30 5回

④日本の常識、世界の非常識—真の国際化を目指して— (日本赤十字広島看護大学) 6/3～7/1 5回

⑤<弱者>へのまなざし—日本文化の基層をさぐる— (安田女子大学) 6/4～7/2 5回

⑥酒の文化誌 (県立広島大学) 6/18～7/9 8回

⑦環境の時代と地域企業 (広島修道大学) 7/1～7/29 5回

⑧身近な病気とくすり (安田女子大学) 7/2～7/30 5回

⑨機械工学って面白い—大学研究者は何をみているのか (広島大学) 8/19～9/30 6回

⑩「美しく年を重ねるために」～健やかに生きるための食と薬～ (広島国際大学) 10/1～10/22 5回

⑪異文化を知る英会話 (近畿大学工学部) 10/5～11/2 5回

⑫中国の文化と社会 (広島大学) 10/15～10/29 6回

⑬安心立命の世を問う —あふれる情報社会の中で— (広島経済大学) 10/26～11/30 5回

⑭「東日本大震災と私たち —広島から考える— (広島市立大学) 10/27～11/24 5回

⑮安心で快適な生活環境と省エネルギー (広島工業大学) 10/28～11/25 4回

⑯原典で読む『百人一首』 (広島文教女子大学) 9/21～10/19 5回

<大学で開講する公開講座>

会場: 各大学で定める

①民事裁判とDNA鑑定 (広島修道大学) 4/23、5/7 2回

②身近な心理学 (比治山大学) 5/7～5/28 4回

③絵画と巡るヨーロッパの歴史 ドイツ・スペイン・フランス (広島修道大学) 6/4～6/18 3回

④フィジカルアセスメント (身体診察技法) (広島都市学園大学) 6/18、7/2 2回

⑤21世紀を実感できるあたらしい社会の構築に向けて —都市デザイン工学が果たす役割— (広島工業大学) 5/28～6/11 6回

⑥世界遺産の旅II (比治山大学) 6/11～7/16 5回

⑦英語で読む絵画論—ポスト印象派の絵画をめぐる— (近畿大学工学部) 2/18～3/10 4回

⑧生き生き元気に過ごそう (広島修道大学) 10/8、10/15 2回

⑨原爆・核をめぐる世界と日本—文学を通じて (広島修道大学) 11/5～11/19 3回

⑩広島経済大学 客員教授による公開講座 (広島経済大学) 12/22～1/26 5回

⑪元気に過ごす中高年講座 (広島国際大学) 12/3～12/17 3回

<メールマガジン配信>

年16回 配信数 337人

Ⅳ 地域社会との連携

1999 年度

第 11 回全国生涯学習フェスティバル生涯学習見本市会場において「カレッジ・フェア」を開催。

2000 年度

マツダ財団寄付講座「人間科学特論演習 03(ボランティア活動)」(広島修道大学)を開始。その後、広島国際学院大学、比治山大学、エリザベト音楽大学を経て、現在は県立広島大学が担当。

2002 年度

広島県教育委員会から「青年地域貢献活動促進事業」を委託(～2003 年度)。東広島市教育委員会「社会人のための大学活用フェア」を後援。

2003 年度

日本学術会議地域振興/中国・四国地区フォーラム「都市と農山漁村のパートナーシップ」を共催。

広島市まちづくり市民交流プラザ、ラーニングネットひろしま主催「社会人のための大学活用フェア」を後援。

2004 年度

第 1 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「高大連携」分科会担当(～2005 年度)。

広島県教育委員会寄付講座「ボランティア参画論」(広島経済大学単位互換提供科目)を開始(～2008 年度)。

全国産業教育フェア広島大会において高大連携イベント協力。広島県教育委員会から「青年地域貢献活動促進事業調査」依頼開始。

2005 年度

次世代育成事業委託(広島ガス)を開始(～2009 年度)。

2006 年度

第 3 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「小中高連携」分科会担当。

青年地域貢献活動「やる気じゃネット!青春じゃけん」実践交流会を広島県教育委員会と共催。(～2009 年度)

2007 年度

第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムを広島で開催。

2008 年度

中国新聞社寄付講座「(現代マスコミ論Ⅱ)」(比治山大学)を開始。その後、広島経済大学が担当。

備北地区保護者対象講座を新規に開講。

第 5 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「コンソーシアムの組織運営」分科会担当。

キャンパスリポーター制度発足(中国新聞との連携)

キャンパスリポーター数 10 大学 63 名

2009 年度

第 6 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「コンソーシアムの組織運営」分科会担当。

広島県大学コンソーシアム支援事業「地域課題研究支援事業」に 6 大学 10 グループを採択した。

キャンパスリポーター数 18 大学 135 名

2010 年度

第 7 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「高大連携」分科会担当。

広島県大学コンソーシアム支援事業「地域課題研究支援事業」に 4 大学 7 グループ採択。

キャンパスリポーター数 15 大学 88 名

2011 年度

第 8 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「大学間連携によっ

て進めるFD・SDの実効化」分科会担当。

広島県大学コンソーシアム支援事業「地域課題研究支援事業」に 4 大学 9 グループ採択。

キャンパスリポーター数 12 大学 80 名

V 教職員研修

2006 年度

①【大学行政管理学会との共催】「中小大学論ー中小規模大学の人事政策」6/17 (71 人)

②「ユニバーサル段階の大学キャリア教育ー新設大学のキャリア支援の取り組み」7/15 (63 人)

③「『個』としての大学職員ー様々な大学職員論を読み解く」8/5 (46 人)

④「人間力開発を目指してー興動館教育プログラムの取り組み」10/7 (50 人)

⑤「教育現場のメンタルヘルス」11/25 (40 人)

⑥「大学マネジメントと学習意欲」12/2 (30 人)

⑦【HiBiS IC カード利用部会との共催】「IC カード学生証の提案と導入事例セミナー」2/7 (85 人)

2007 年度

①「認証評価の取組」(事例発表と意見交換)6/30 (48 人)

②「ワークショップ」(入学・学生募集)(学生生活支援)(教務)(図書館)(情報システム)(就職・キャリア)(地域連携)(人事・総務・財務)など 8/4 (37 人)

③「学生証 IC カード化」8/24 ※HiBiS IC カード利用部会との共催 (64 人)

④「第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」9/15・16(62 人)

⑤「オープンキャンパスの評価改善手法の構築」(学生支援 GP)12/1(74 人)

2008 年度

①【大学行政管理学会との共催】「国際交流 広島修道大学の国際交流の実情及び今後の展望ーさらなる国際的な交流の促進に向けてー」5/31(38 人)

②「FD 研修会 これからの大学教員・職員の在り方ーFD・SD の現状と課題」7/5 (71 人)

③地域連携 戦略的の大学連携事業「高大連携による過疎地域の人材育成及び IC カード受講証を活用したひろしまカレッジ」9/27 (47 人)

④実務講座 大学人としての基礎知識
「大学職員の基礎知識」と「大学改革を考える」11/29 (69 人)

2009 年度

①若手職員研修会「大学の歴史・学校法人・大学設置基準ほか」「学校法人会計・補助金制度ほか」「これからの大学ほか」など5/23 (59 人)

②【大学行政管理学会との共催】「中長期的な大学教育の在り方について」7/4 (112 人)

③FD 研修会第 1 回 「備北地区の高校と 4 大学の連携による遠隔授業の試み」9/26 (67 人)

④【大学行政管理学会との共催】「大学事務職員の能力発揮と職場環境」
「SD に関する提言案(中間報告)」10/31 (82 人)

⑤FD 研修会第 2 回 「3 大学からの FD 研修会取り組み事例発表」11/21 (66 人)

2010 年度

①初任者SD研修「これからの大学職員に期待される役割について」5/22 (64 人)

②【大学行政管理学会西日本支部との共催】第 1 回「 広島修道大学・広島経済大学からの報告6/19 (79 人)

③認証評価～評価のための評価で終わらせないために～ 広島修道大学・広島工業大学からの事例報告 10/9 開催 (23 人)

④【大学行政管理学会西日本支部との共催】第 2 回「学校法人の経営改革ー学校法人における財政収支改善の工夫ー」「教育改革プロセスの課題と教育力向上方策の実践状況ー第 2 回「大学における教育力向上に関する調査」の概要ー」 11/20 (48 人)

⑤基礎学力の向上FD 第 1 回～理数科目への学習意欲の向上をめざす取り組み～ 12/11 (24 人)

⑥基礎学力の向上FD 第 2 回～学生の学習意欲の向上をめざす授業づくり・言語科目編～ 2/26 (28 人)

2011 年度

①「新入および概ね入職 3 年以下の事務職員を対象とした集合研修」6/11 (73 人)

②戦略的支援事業報告会 7/30 (18 人)

③【大学行政管理学会西日本支部との共催】明日の大学広報 ～受け手本位のコミュニケーション型広報へ～10/8 (43 人)

④「より効果的な授業の構築を考える」10/29 (10 人)

⑤基礎学力の向上FD 第 3 回 1/28 (35 人)

⑥基礎学力の向上FD 第 4 回 2/24 (31 人)

設置委員会 (2012 年度)

1. 運営委員会
2. 教学委員会
3. 高大連携委員会
4. 遠隔授業検討委員会
5. 研修委員会
6. IC カード学生証委員会

会費・参加費

基本会費	1 会員 19 万円(同一学校法人設置短期大学は 7 万 5 千円) 大学校・短期大学 15 万円 高等専門学校は 7 万 5 千円 教育団体会費は 10 万円、5 万円、3 万円
規模別会費	学生数 1 人につき 50 円
賛助会費	1 口 3 万円
高大連携事業	1 高校につき 3 千円(正会員は免除)

[2012.4.10 現在]